



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年7月29日

上場会社名 株式会社PALTAC

上場取引所 東

コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 糟谷 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 嶋田 政治

TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	260,099	1.0	6,089	2.7	6,726	3.4	4,655	2.6
2020年3月期第1四半期	262,633	0.8	6,259	9.5	6,964	8.5	4,780	8.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	73.27	
2020年3月期第1四半期	75.23	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	423,924	222,478	52.5	3,501.00
2020年3月期	418,756	218,297	52.1	3,435.20

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 222,478百万円 2020年3月期 218,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		35.00		35.00	70.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		36.00		36.00	72.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,047,000	0.1	25,000	1.2	27,500	0.7	19,000	25.2	298.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	63,553,485 株	2020年3月期	63,553,485 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	6,287 株	2020年3月期	6,287 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	63,547,198 株	2020年3月期1Q	63,547,248 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算発表後に当社ホームページ(<http://www.paltac.co.jp/tomorrow/index.html>)に掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の環境下において、緊急事態宣言の発出に伴う休業要請、外出自粛要請などにより経済活動が収縮し、景気は急激に悪化いたしました。宣言解除後は、経済活動が段階的に再開しているものの、感染症自体の収束に依然として目処は立っておらず、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、衛生面に対する意識の向上に伴い、マスクや手洗石鹸、消毒液等、衛生関連商品の需要が増加する一方で、宣言解除後もフィジカルディスタンスの確保を基本とした在宅勤務や、レジャーに伴う外出などが完全に戻り切らない中で、メイクアップや整髪料などの化粧品の需要が低下する状況にあります。また、入国者が数千人にまで減少したことからインバウンド需要はほぼ無くなり、国内販売においては内需のみに対応した展開となっております。

このような状況のなか、当社は、従業員の安全を守ることが事業継続の要であるとの考えに立ち、労働環境の整備や衛生管理の徹底に努め、当社の社会的役割である生活必需品の供給を継続しております。

また、今回の感染症拡大に伴い、流通全体の生産性の向上に対する社会的ニーズはさらに上昇しており、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを最終年度となる中期経営計画の中で継続して行っております。

新物流モデルへの投資は、前事業年度までにほぼ完了し、当事業年度はセンターを稼働させるなかで、効率的に運用するノウハウの蓄積に努めております。同時に、企業間の相互協力による「コストの利益化」や、生活者に商品がわたる店頭を重視し、商談内容の実現率を向上させるとともに、店頭における情報を活用・フィードバックすることで商談の品質向上を図る「売れる仕組みづくり」について、昨年10月に設置した専門部署を中心に取組みを進めております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,600億99百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益60億89百万円(前年同期比2.7%減)、経常利益67億26百万円(前年同期比3.4%減)、四半期純利益46億55百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

なお、当社のセグメント報告は、単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて51億67百万円増加し、4,239億24百万円となりました。これは主に、現金及び預金が29億55百万円、受取手形及び売掛金が13億54百万円、商品及び製品が6億96百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて9億86百万円増加し、2,014億45百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことや、支払手形及び買掛金が36億16百万円、未払法人税等が27億35百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて41億81百万円増加し、2,224億78百万円となりました。これは主に、利益剰余金が24億31百万円、その他有価証券評価差額金が17億51百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より29億55百万円増加し、255億30百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は6億79百万円(前年同期比74億81百万円の減少)となりました。これは主に、税引前四半期純利益67億52百万円、減価償却費14億10百万円、売上債権の増加額13億54百万円、仕入債務の減少額30億24百万円、法人税等の支払額46億23百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億17百万円(前年同期比15億7百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12億5百万円、有形固定資産の売却による収入3億96百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は44億52百万円(前年同期比65億87百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額80億円、長期借入金の返済による支出12億88百万円、配当金の支払額22億20百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

なお、詳細につきましては本日公表の「2021年3月期業績予想及び配当予想並びに中期経営計画に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,575	25,530
受取手形及び売掛金	197,229	198,583
商品及び製品	43,398	44,095
その他	16,787	16,241
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	279,982	284,443
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	45,963	45,326
土地	47,401	47,054
その他(純額)	21,614	20,882
有形固定資産合計	114,979	113,263
無形固定資産	911	857
投資その他の資産		
投資その他の資産	22,888	25,365
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	22,883	25,360
固定資産合計	138,774	139,481
資産合計	418,756	423,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,694	156,077
短期借入金	—	8,000
未払法人税等	5,046	2,310
賞与引当金	1,601	2,400
返品調整引当金	178	225
その他	24,412	22,349
流動負債合計	190,932	191,364
固定負債		
退職給付引当金	2,548	2,571
その他	6,977	7,509
固定負債合計	9,526	10,081
負債合計	200,459	201,445

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	164,770	167,201
自己株式	△9	△9
株主資本合計	208,457	210,889
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,831	11,583
繰延ヘッジ損益	8	6
評価・換算差額等合計	9,839	11,589
純資産合計	218,297	222,478
負債純資産合計	418,756	423,924

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	262,633	260,099
売上原価	242,582	239,986
売上総利益	20,051	20,113
販売費及び一般管理費	13,791	14,023
営業利益	6,259	6,089
営業外収益		
受取配当金	118	112
情報提供料収入	459	438
不動産賃貸料	35	31
その他	123	77
営業外収益合計	737	660
営業外費用		
支払利息	22	12
不動産賃貸費用	9	8
その他	0	2
営業外費用合計	32	23
経常利益	6,964	6,726
特別利益		
固定資産売却益	—	9
投資有価証券売却益	2	22
特別利益合計	2	31
特別損失		
固定資産除却損	0	4
減損損失	18	—
投資有価証券売却損	3	—
特別損失合計	22	4
税引前四半期純利益	6,943	6,752
法人税、住民税及び事業税	2,136	2,105
法人税等調整額	27	△8
法人税等合計	2,163	2,096
四半期純利益	4,780	4,655

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	6,943	6,752
減価償却費	1,186	1,410
減損損失	18	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	802	799
返品調整引当金の増減額(△は減少)	36	47
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27	42
受取利息及び受取配当金	△118	△112
支払利息	22	12
投資有価証券売却損益(△は益)	1	△22
売上債権の増減額(△は増加)	△12,361	△1,354
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,580	△696
仕入債務の増減額(△は減少)	4,320	△3,024
未払消費税等の増減額(△は減少)	525	911
その他	△1,414	△924
小計	△3,581	3,842
利息及び配当金の受取額	118	112
利息の支払額	△19	△10
法人税等の支払額	△4,679	△4,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,161	△679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,346	△1,205
有形固定資産の売却による収入	10	396
無形固定資産の取得による支出	△50	△28
投資有価証券の取得による支出	△35	△32
投資有価証券の売却による収入	125	64
その他	△27	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,325	△817
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	15,000	8,000
長期借入金の返済による支出	△1,761	△1,288
リース債務の返済による支出	△41	△38
配当金の支払額	△2,157	△2,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,040	4,452
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	553	2,955
現金及び現金同等物の期首残高	18,359	22,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,912	25,530

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第1四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

商品分類別の名称	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
	金額(百万円)	
化粧品	56,830	△14.6
日用品	124,623	6.6
医薬品	29,044	△14.9
健康・衛生関連品	45,875	10.9
その他	3,725	1.3
合計	260,099	△1.0

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。

②当第1四半期累計期間における販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
		金額(百万円)	
Drug	ドラッグストア	163,464	△1.3
HC	ホームセンター	27,813	9.4
DS、Su.C	ディスカウントストア、スーパーセンター	17,364	△9.2
CVS	コンビニエンスストア	17,364	△6.5
SM、SSM	スーパーマーケット、スーパースーパーマーケット	13,347	2.2
GMS	ゼネラルマーチャングストア	8,440	△11.5
その他	輸出、その他	12,305	8.5
合計		260,099	△1.0

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。